

(案)

横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた 西区アクションプラン(概要版)



西区では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指し、平成29年度に指針を策定して取組を進めてまいりました。令和3年度からは、各取組の名称も「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(以下西区アクションプラン)へ変更して、新たに策定します。この内容について、区民の皆様からご意見を募集します。

にこまちプランと一体的に進める西区地域包括ケアシステムの構築

にこまちプラン

基本理念

西区に住む私たちは、住み慣れたまちで誰もがにこやかに、しあわせに、いきいきと暮らし続けることを目指します。そのため、自分でできることは自分たちで行い、人々がつながり、みんながともに支えあうまちをつくりまします。

地域包括ケアシステムの構築

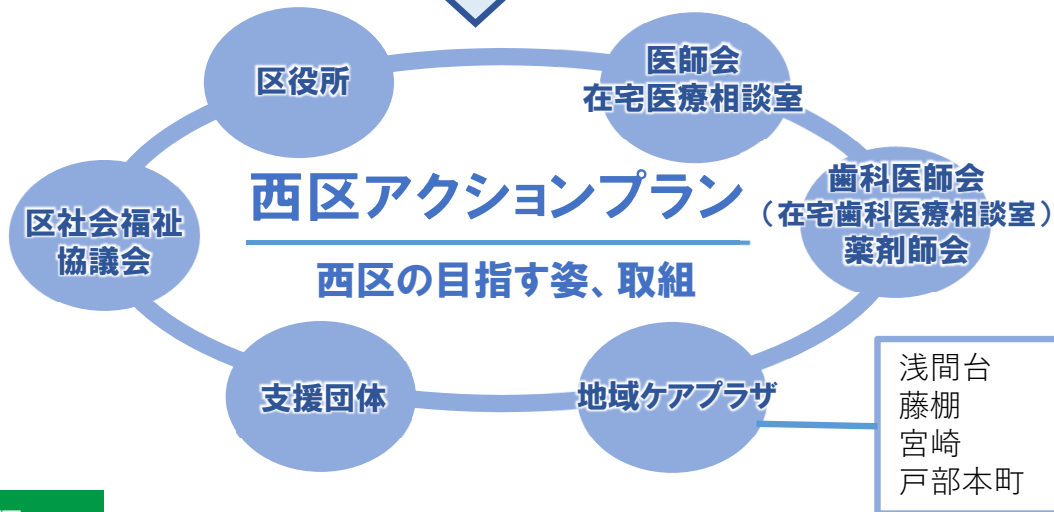
高齢者一人ひとりが、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、包括的な支援・サービスが提供される体制を築きます。

在宅医療・
介護連携

生活支援や
社会参加の
充実

健康づくり・
介護予防

認知症対策



西区の課題

- 要介護認定の出現率は、前期高齢者で18区中12番目と、市の平均よりやや低い状況ですが、後期高齢者になると上から2番目と高くなり、継続した社会参加の場の確保や介護予防・重症化予防の取組の推進が必要です。
- 単身高齢者や高齢者世帯が増える中、これまで以上に「住民どうして助け合い・支えあう仕組み」の充実や、それを担う人材の確保、育成が求められています。

区の方向性

「在宅医療・介護連携」「生活支援や社会参加の充実」「健康づくり・介護予防」「認知症対策」の4つの分野について、介護・医療・介護予防など、幅広い分野にわたる多くの関係者が、組織や職種を超えて連携し、同一の目標に向かって取り組んでいきます。

在宅医療・介護連携

【目指す姿】

- 疾病や障害がありながらも、本人や家族が望めば、医療職・介護職の連携した支援をうけ、住み慣れた地域で安心して最期まですごすことができます。
- 高齢者が自らの意思で、人生の最期まで自分らしく生きることができています。

◎療養生活や治療を、患者や家族が自ら選択・決定でき、在宅生活を望む方には在宅での看取りを行うことを可能にするため、医療と介護の連携や病院と在宅医療との切れ目のない連携を進めます。

- 「在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修」の開催
- 「西区在宅療養ガイド」にACP(※1)の内容を加えて改訂(※1)人生会議。アドバンス・ケア・プランニングの略



▲西区在宅療養ガイド

生活支援や社会参加の充実

【目指す姿】

- 自分でできることは自分で行いながら住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支援を要する高齢者への様々な主体による生活支援があります。
- 高齢者自身が孤立することなく、生きがいや役割をもって、自分らしく暮らし続けられるよう、様々な社会参加の機会があります。

◎高齢者の生活課題の解決に向け、身近な助け合いや新たなサービスの創出を進めます。また、高齢者の社会参加を促し、活躍できる場を充実させていきます。

区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームがにこまちプランと連動させながら地域の取組を支援します。

- 自治会や集合住宅等の小規模エリアでの支援やつながりを模索
- 「地域で見守りガイドブック」等を活用した、見守り活動の充実やネットワークの構築
- 新たな生活様式に対応したつながりの創出



▲見守り組織「ふれあい会」活動の様子

健康づくり・介護予防

【目指す姿】

- 多様な主体との連携を進め、介護予防の取組が推進されるとともに、関心の薄い方が興味を持つことができる機会を提供できています。
- ころばんよ体操などを切り口とした介護予防を実践・継続できる場があり、地域の中でつながりができています。

◎西区のご当地体操「ころばんよ体操」等の普及を通じて、介護予防、特にロコモティブシンドローム(※2)（以下ロコモ）予防およびオーラルフレイル予防の重要性・必要性を広く周知するとともに、地域において自主的に介護予防活動を行う人材の育成を進めます。

- 身近で気軽に通える場の立ち上げ、活動団体の継続支援
- 介護予防活動に取り組む「げんき活動応援団」等リーダー研修会の開催
- 介護予防の知識・取組を広く周知 ※2運動器の機能が低下した状態



▲「ころばんよ体操」解説書

認知症対策

【目指す姿】

- 認知症について正しく理解し、地域で支えあうことの必要性を認識している方が増え、認知症の方・介護者の方が安心して暮らし続けられるまちなっています。

◎「西区認知症ガイド」「広報よこはま西区版」等を活用した普及啓発や、地域の関係機関との連携に努め認知症の方をあたたく見守るネットワークの拡充を進めます。

- 認知症普及啓発講演会および認知症予防講演会の実施
- 関係機関と連携強化のため認知症連絡会等の開催
- 早期発見・早期対応にむけた医療機関との連携推進
- 権利擁護事業(成年後見制度の利用促進等)の推進



▲「西区認知症ガイド」「西区お店版認知症ガイド」